

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和4年7月7日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	クロロディニウム・ホリクリコイデス
1. 夏井沖	10:51	0	23.3	30.63	7.8	0	11	0	0
		5	20.9	33.42	7.5	0	0	0	0
		15	20.4	33.82	7.4	0	0	0	0
		25	20.4	33.87	7.4	0	0	0	0
		35	20.2	33.89	7.3	0	0	0	0
		41	20.1	33.89	7	0	0	0	0
2. 長田沖	10:22	0	23.8	29.06	7.9	0	0	0	0
		5	20.8	33.53	7.8	0	0	0	0
3. 片白島	8:59	0	23.3	30.18	8.5	0	0	225	0
		8	20.6	33.73	7.9	0	0	0	0
4. 小田代	9:13	0	23.7	30.00	9.0	0	0	50	0
		5	21.1	33.67	8.3	0	0	0	0
5. 沖松浦漁港	9:19	0	24.2	26.47	8.8	0	0	1,550	0
		4	21.3	33.65	8.1	0	0	25	0
6. 鶴見振興局裏	9:22	0	25.2	22.79	10.2	0	0	0	0
		4	21.6	33.60	8.6	0	0	0	0
7. 鶴見ポンツーン	9:25	0	24.4	25.18	9.0	0	0	0	0
		2	22.4	32.68	8.8	0	0	0	0
		5	21.1	33.68	8.1	0	0	0	0
		10	20.6	33.78	7.3	0	0	0	0
		11.3	20.5	33.77	7.3	0	0	0	0
		12.3	20.5	33.80	7.2	0	1	0	0
8. 石間	10:13	0	23.1	31.70	7.8	0	0	475	0
		8	21.0	33.70	8.0	0	0	0	0
9. 霞ヶ浦	10:22	0	26.0	28.08	13.3	0	0	8,000	0
		5	21.3	33.68	7.8	0	15	0	0
10. 守後	10:32	0	24.9	30.22	9.6	0	1	2,100	0
		9	20.6	33.77	8.1	1	17	0	0
11. 片神	10:39	0	25.5	28.36	10.4	0	0	3,000	0
		10	20.5	33.77	7.9	0	5	0	0
12. 片神～彦島	10:49	0	26.9	27.55	11.7	0	0	3,000	0
		9	20.6	33.77	8.0	0	8	0	0
13. 水試前	11:03	0	23.5	31.20	8.0	0	3	0	0
		10	20.9	33.68	7.9	0	1	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

*現在、st.7 鶴見ポンツーンにおいて自動昇降式観測機を設置していますので、QRコードまたは下記URLからご利用ください。

<http://hydro.browse.jp/hydrolift/20-Oita/oitatop.html>

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
クロロディニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*アربي、ササエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

*マダロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。



自動昇降式観測機QRコード

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラ類、カレニア・ミキモトイ、ヘテロシグマ・アカシオが確認されました。また、ヘテロシグマ・アカシオが霞ヶ浦周辺で注意密度を超えて増殖し、一部では着色しています。

今後の細胞密度の推移と魚介類の管理にご注意下さい。

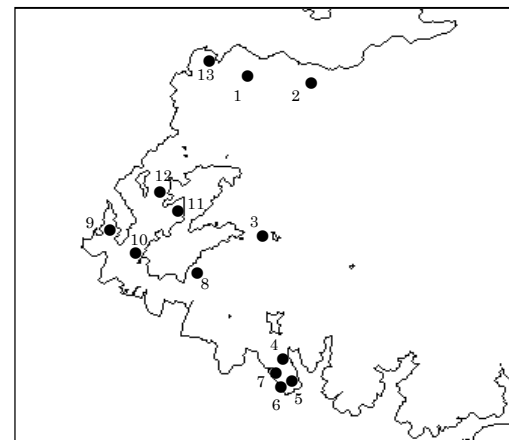


図. 調査定点図